

005

## 地震の危険を触って学ぶ、視覚障がいのある子ども向けの防災教材

取組主体

和歌山県障害者支援赤十字奉仕団

従業員数

11人

想定災害

地震

実施地域

和歌山県

- 視覚障がいのある子どもに向けて、触って学ぶ防災教材を作製、提供した。立体模型で教室をリアルに再現し、地震によって物が倒れてくるといった状況を想像できるように工夫した。

### 1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

#### 触って学ぶ防災教材の作製

- 和歌山県障害者支援赤十字奉仕団は、「触って学べる防災教材」を作製し、県立和歌山盲学校に寄贈した。
- 学校で避難訓練は実施するものの、視覚障がいのある子どもに向けた防災教材は少ないことから、地震によって物が倒れてくるといった状況を想像しづらいのではないかと考えた同奉仕団が、立体模型の教材を作製した。
- プラスチックボードを教室に見立て、ミニチュアの机や椅子、本棚等を設置し、リアルな教室を再現した。また、模型を揺らすと壁時計が落ち、ピアノや机が動き、本棚が倒れ、本が飛び出す仕掛けになっており、教室での地震被害がリアルに再現されるようになっている。
- リアルに被害を感じることで、どこに物を置いておけば災害時に安全か、といったことを、具体的にイメージできるようになってほしいと同奉仕団は考える。
- また、子どもが手で触っても安全な素材を使用しているため、低学年の子どもにも、遊びながら防災を学んでほしいと考えている。
- 子どもたちは、この教材を使ったことで、避難時はハサミが床にあると危ないことを学び、普段からハサミの置き場所を考えるようになった、といった効果も出ている。



教室を再現した様子



本棚が倒れたり物が落ちたりする様子

#### 担当者の声

- 今後も、障がいのある子どもたちが楽しんで遊べるような作品や訓練の手助けになるような教材等を作っていきます。

#### 問合せ先

和歌山県障害者支援赤十字奉仕団

TEL : 073-422-7141 FAX : 073-422-7148 E-Mail : jigyo@wakayama.jrc.or.jp

#### サイト URL

